

●反復性臍疝痛^{さいせんつう}1

ある日の午後、幼稚園で仲間と楽しく遊んでいたA君が、突然、蒼白な顔をしてしゃがみ込んでしまいました。へそのまわりを押さえて「痛い痛い」と言っただけです。そばにいた先生が驚いてA君を連れて小児科を受診しました。診察した時は顔面は蒼白でしたが、お腹を触っても、虫垂炎にみられる特有な反応はなく、どこを押さえてもそれほど痛がりません。「今朝うんち出た?」「うん少し」こんなやりとりをしながら数分経つうちに、顔や口唇に赤みが差してきました。そしてほとんど痛みを訴えなくなり、しばらくするととても元気になりました。

その時、幼稚園からの知らせを聞いて、お母さんがあわてて駆け込んできました。診察した結果、大きな異常はなく一時的なものであることを話すとやっと安心したようでした。お母さんによると、A君は普段からよく腹痛を訴えることがあり、テレビを見ていて突然「痛い」と言ったり、幼稚園に行く頃になってお腹を抱えたり、1カ月に1、2度こんなことがあります。近くのお医者さんに診てもらいましたが、A君が診察を受ける頃には、あの激しかった痛みも消えてしまうのです。「神経性のものだよ」と言われて、なんとなく納得できませんでしたが、その後ずっと腹痛が起きなかつたので安心して矢先に今回の事件です。

お母さんの熱心な希望で翌日、精密検査をしました。便には回虫卵もありません。腹部のレントゲンは異状なく、肝臓も脾臓も全く正常です。脳波も取ってみました。なぜ脳波を取るかという「腹性てんかん」という病気があるからです。それは反復して腹痛を訴える子供にみられる疾患で、脳波異常があつて、抗けいれん剤の服用により痛みが軽減します。ところがA君の場合は、全く正常な脳波でした。

普通の病院で行われる検査で異常が見つからず（自律神経機能を詳細に調べれば分かりますが）、1カ月に数回程度の腹痛（へその周囲が多い）を伴い、それも短時間で消失する、そういった腹痛が標題に書いた「反復性臍疝痛」です。ところがこれは幼児に誰でも起こる訳ではありません。

次回は反復性臍疝痛を起こしやすいタイプについてお話しします。

【岩国市医師会】

寒い冬にあったか料理

味噌おでん

材料（4人分）

- ・サトイモ…4個
- ・ダイコン…8cm
- ・コンニャク…160g
- A
 - ・白みそ…大さじ2
 - ・酒…大さじ2
 - ・みりん…大さじ2
 - ・砂糖…大さじ2

●エネルギー 97kcal/人 ●塩分 0.6g/人

作り方

- ①サトイモは皮をむき、軟らかくなるまでゆでる。ダイコンは皮をむいて半月切りにし、米のとぎ汁で透き通るまでゆでる。コンニャクはさっとゆがく。
- ②小鍋にAを入れて火にかけよく混ぜる。とろみがついたら火から下ろす。
- ③器に①を盛り、②をかける。

食推さんの
食べてみんな
おいしいけえ！



★ひとことポイント★

みそだれは豆腐や蒸し野菜にかけると一年中楽しめます。

レシピ提供：岩国市食生活改善推進協議会